

第 2 節 東北地域における電力小売市場の状況

本調査では、電力小売自由化の影響を把握するため、業務用需要に該当する施設を多く所有する自治体、大学、病院に絞った需要家の電力調達の様況及び電力自由化に関する認識についてアンケート調査を実施した。また、電力自由化に関する需要家の認識を詳細に把握するために、ヒアリング調査も合わせて実施した。

以下には、上記のアンケート調査、ヒアリング調査の結果を示すとともに、他地域との比較のために、経済産業省が 2005 年（平成 17 年）12 月に実施した需要家アンケート（以下「需要家アンケート」）の結果との比較も示す。なお、同アンケートは、特定規模需要の需要家に対して実施したものであり、産業用需要、業務用需要ともに含まれている。

1. アンケート調査の概要

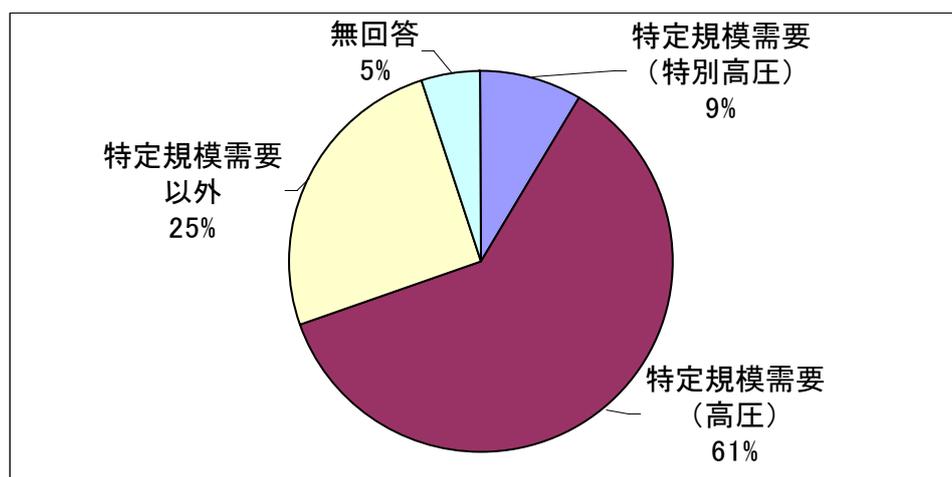
アンケート調査は、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県及び新潟県を対象地区とし、以下の自治体、大学及び病院を抽出して実施した。アンケートの送付件数、回答数及び回答率を以下に示す。

図表 74 アンケートの送付件数、回答数及び回答率

区 分	送付件数	回答数	回答率	備考
自治体	101 件	55 件	54.5%	全ての県及び市
大学	85 件	50 件	58.8%	全ての大学
病院	55 件	33 件	60.0%	主要病院
合 計	241 件	138 件	57.3%	-

また、アンケートに回答した需要家の属性は、以下の通りであり、特定規模需要の需要家が約 7 割を占め、そのうち約 9 割が高圧需要家である。したがって、以下では、需要家アンケートの結果のうち、高圧業務用需要家の結果と比較することとする。

図表 75 アンケート回答者の属性



2. アンケート結果

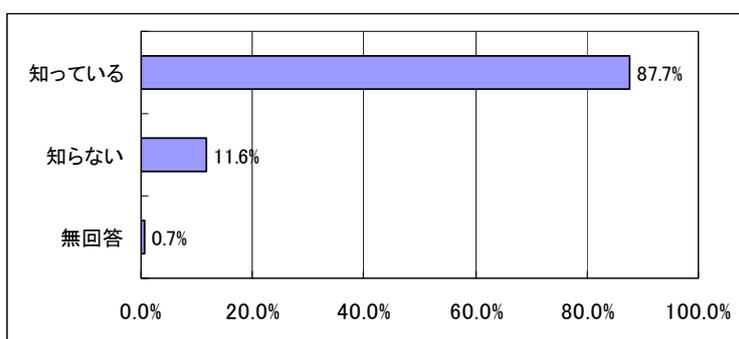
(1) 電力自由化に関する需要家の認識について

①電力自由化の認知度

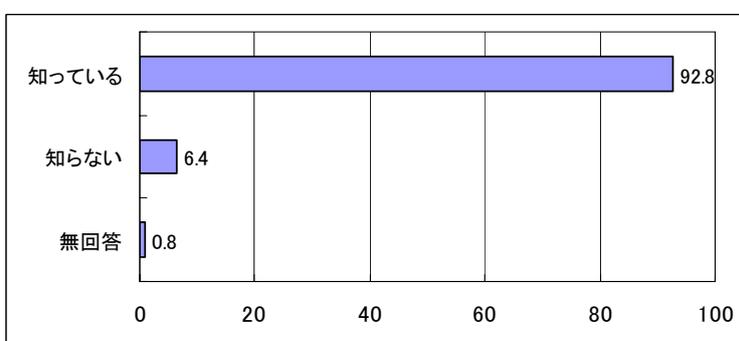
「電力自由化によって、電力の購入先の選択肢が広がっていることをご存知ですか」という質問に対して、87.7%の需要家が知っていると回答し、知らないと回答した需要家は 11.6%に留まった。

また、全国との比較では、東北地域の方が電力自由化の認知度について、約 5%低いですが、全国、東北ともに 9 割前後の需要家が電力自由化を認識している。

図表 76 電力自由化の認知度（東北地域）



図表 77 電力自由化の認知度（全国）



（資料）経済産業省 需要家アンケート（2005年2月）

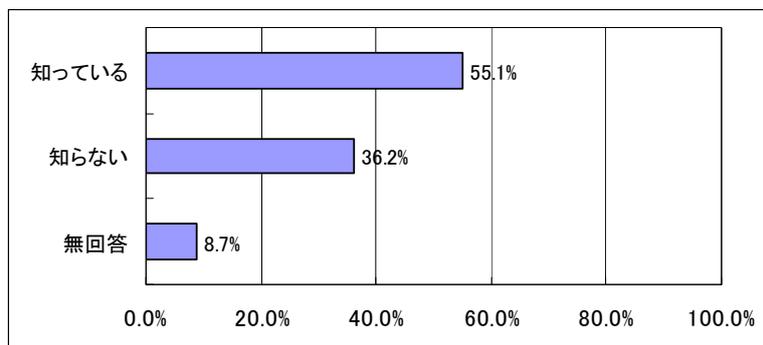
②料金規制の撤廃に関する認知度

電力自由化以前、需要家の需要規模、需要形態により、各電力会社毎一律の認可料金が適用されていたが、電力自由化によって、この料金規制が撤廃され、需要家は電力会社や PPS 事業者と料金交渉が可能になった。

「料金交渉が可能になったことをご存知でしたか」という質問に対して、55.1%の需要家が知っていると回答したが、一方知らないと回答した需要家は36.2%に達した。

料金交渉が可能になったことの認知度は、電力自由化自体の認知度と比較すると、低いという結果となった。

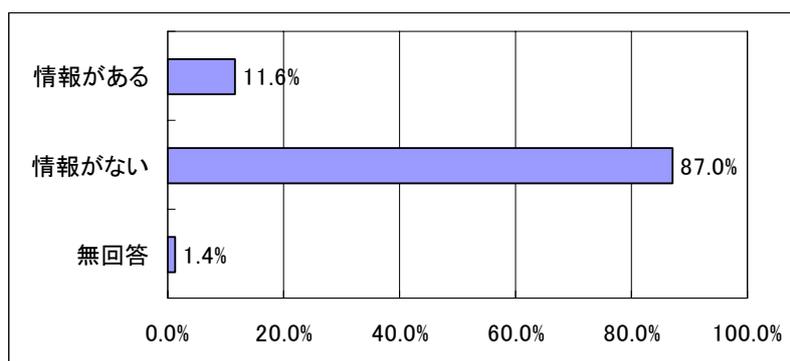
図表 78 料金規制の撤廃に関する認知度（東北）



③電気事業者に関する情報等

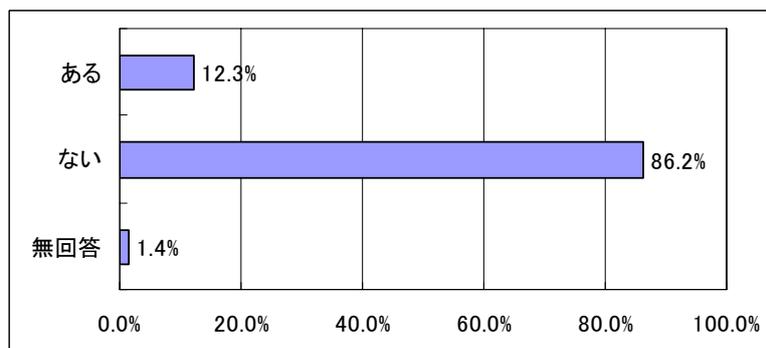
電気事業者を選択する際に、「地元の電力会社以外の電気事業者の情報がありますか」という質問をしたところ、87.0%の需要家が、情報がないと回答した。

図表 79 電気事業者に関する情報（東北）



「地元の電力会社以外の電力会社から、電力購入に関して営業を受けたことはありますか」という質問に足しては、86.2%の需要家がないと回答した。

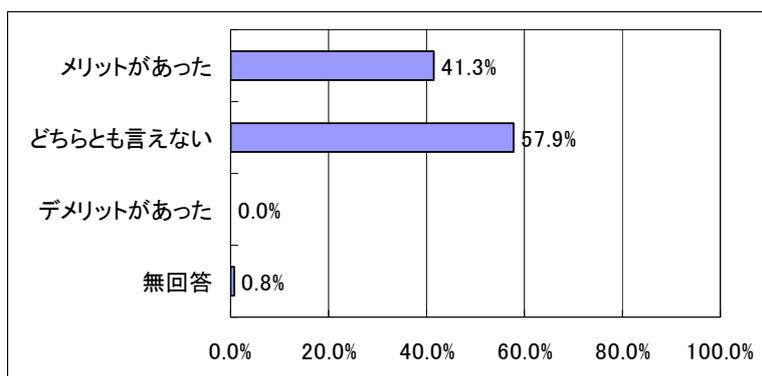
図表 80 他の電気事業者の営業活動（東北）



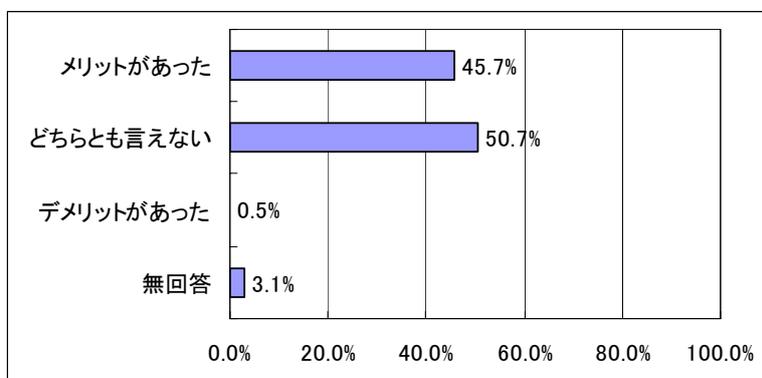
④電力自由化によるメリット

①で「知っている」と回答した需要家に対して、「電力自由化によってメリットがあったと思いますか」という質問をしたところ、メリットがあったと回答した需要家は41.3%に達し、デメリットがあったと回答した需要家はいなかった。全国との比較では、東北地域の方がメリットがあると回答した需要家が約5%少ないが、同じような傾向であった。

図表 81 電力自由化によるメリットの有無（東北）



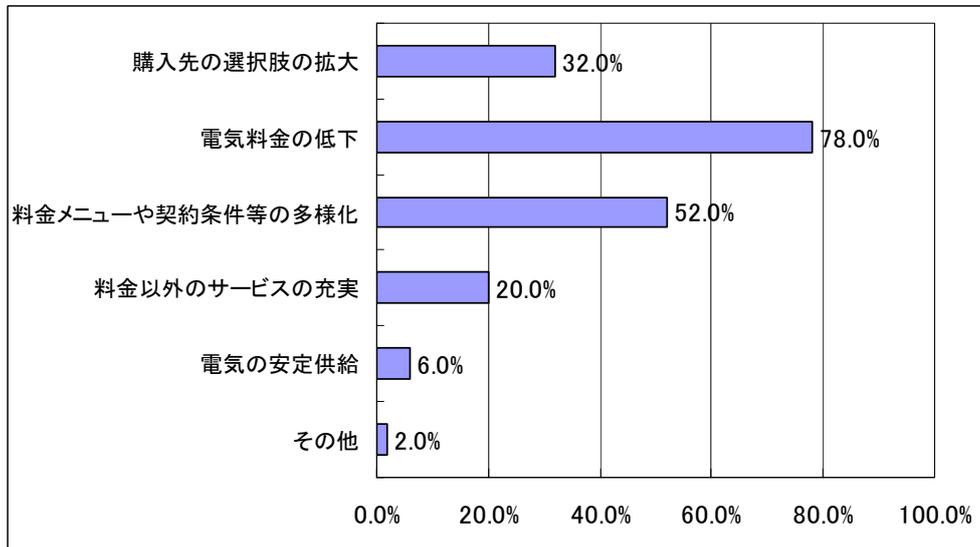
図表 82 電力自由化によるメリットの有無（全国）



(資料) 経済産業省 需要家アンケート (2005年2月)

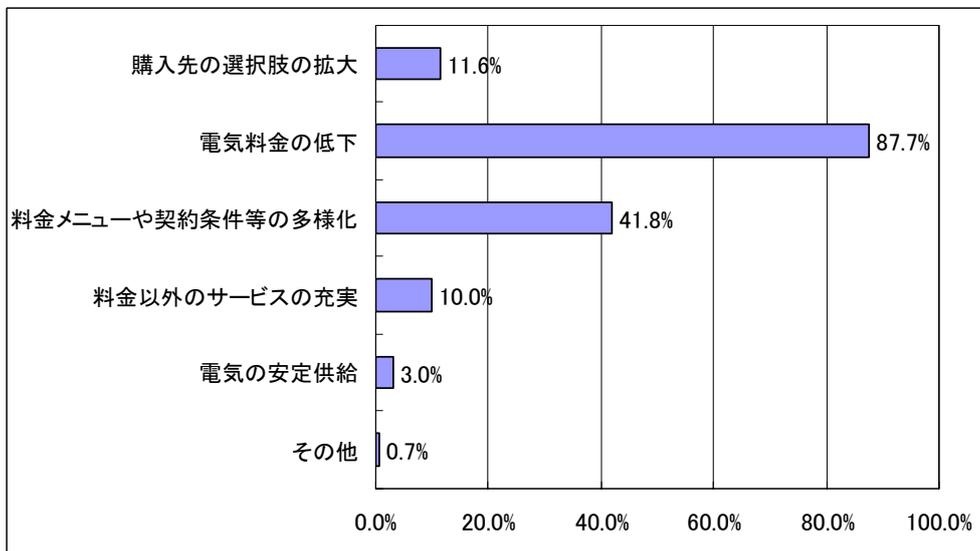
メリットがあったと回答した需要家に、具体的に「どのようなメリットがあったか」質問したところ、電気料金の低下を挙げた需要家が78.0%と最も多く、次いで料金メニューや契約条件等の多様化を挙げた需要家が52.0%と多い。全国との比較では、購入先の選択肢の拡大、料金メニューや契約条件等の多様化を挙げた需要家が東北地域では大幅に少ないこと、料金以外のサービスの充実を挙げた需要家が東北地域では多かったことが特徴として挙げられる。

図表 83 電力自由化によるメリットの内容（複数回答可）（東北）



注) 数値は、当該質問の回答者数に対する割合

図表 84 電力自由化によるメリットの内容（複数回答可）（全国）



(資料) 経済産業省 需要家アンケート (2005年2月)

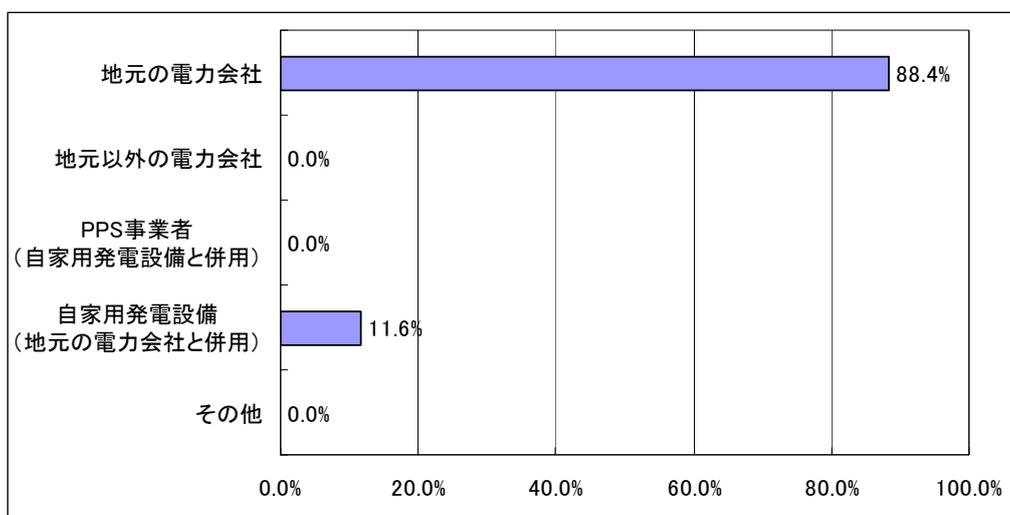
注) 数値は、当該質問の回答者数に対する割合

(2) 電力調達の現状について

①電力の調達先

現在の電力の調達先について質問したところ、「地元の電力会社」と回答した需要家が88.4%と最も多く、次いで地元の電力会社と自家用発電設備と併用している需要家が11.6%であった。

図表 85 電力の調達先（東北）

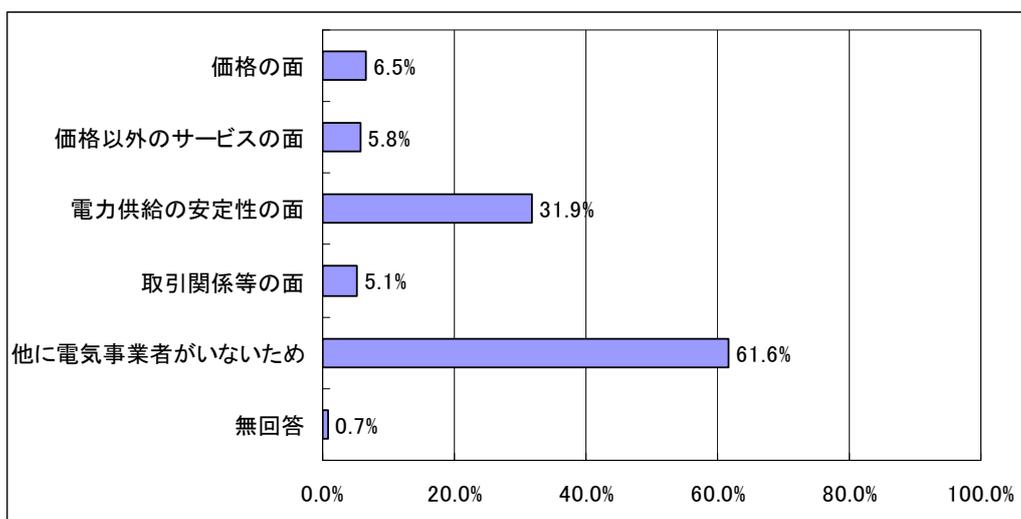


②調達先選択の理由

現在の調達先を選択している理由を質問したところ、「他に電気事業者がないため」と回答した需要家が61.6%と最も多く、逆に「価格」や「価格以外のサービス」を重視して選択している需要家はそれぞれ6.5%、5.8%と少数に留まった。一方、全国では、「価格の面」と回答した需要家が87.4%と極めて高い。

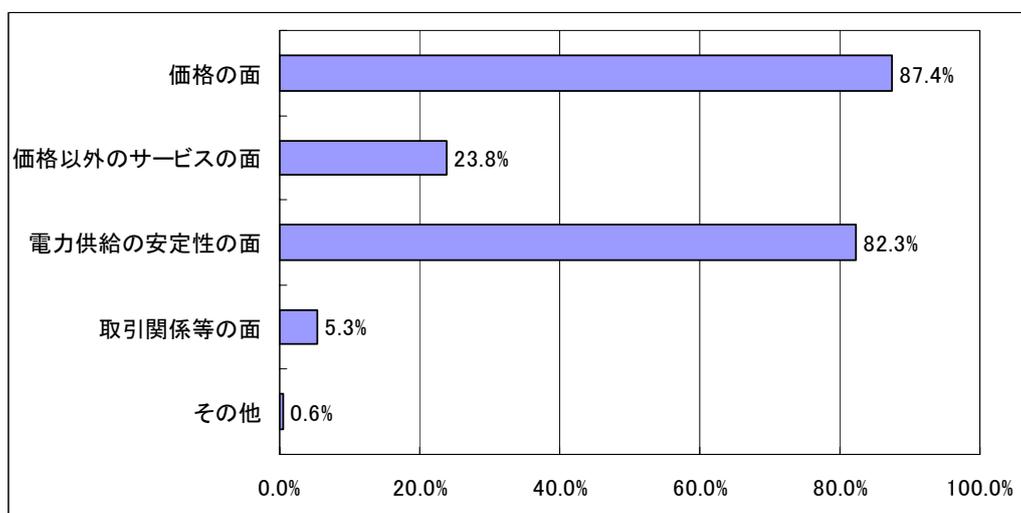
また、東北では「電力供給の安定性の面」を考慮して選択していると回答した需要家が31.9%と高い。PPS事業者等が供給する電力は安定性が低いと認識している需要家が多いという結果となった。

図表 86 電力の調達先選択の理由（複数回答可）（東北）



注) 数値は、当該質問の回答者数に対する割合

図表 87 電力の調達先選択の理由（複数回答可）（全国）



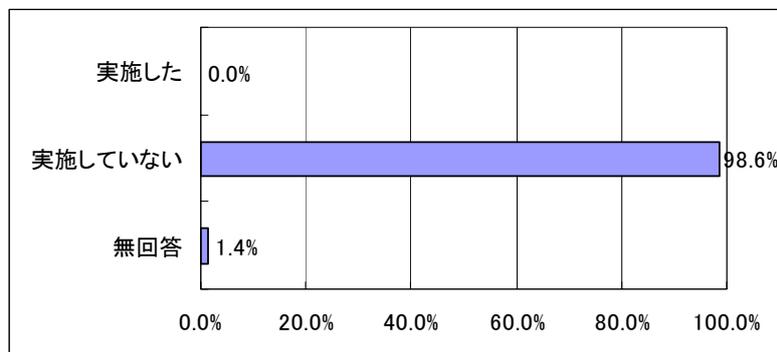
(資料) 経済産業省 需要家アンケート (2005年2月)

注) 数値は、当該質問の回答者数に対する割合

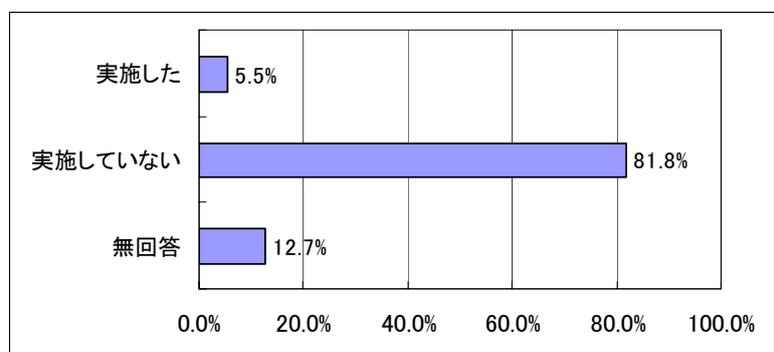
③電力入札の実施状況

現在の契約を締結する際に、「電力入札を実施したか」と質問したところ、今回のアンケートにおいて、「実施した」と回答した需要家はなかった。（東北電力(株)管内における電力入札は実際行われている。）一方全国で見ると、5.5%と少数ではあるが、電力入札を実施した需要家がいる。

図表 88 電力入札の実施状況（東北）



図表 89 電力入札の実施状況（全国）

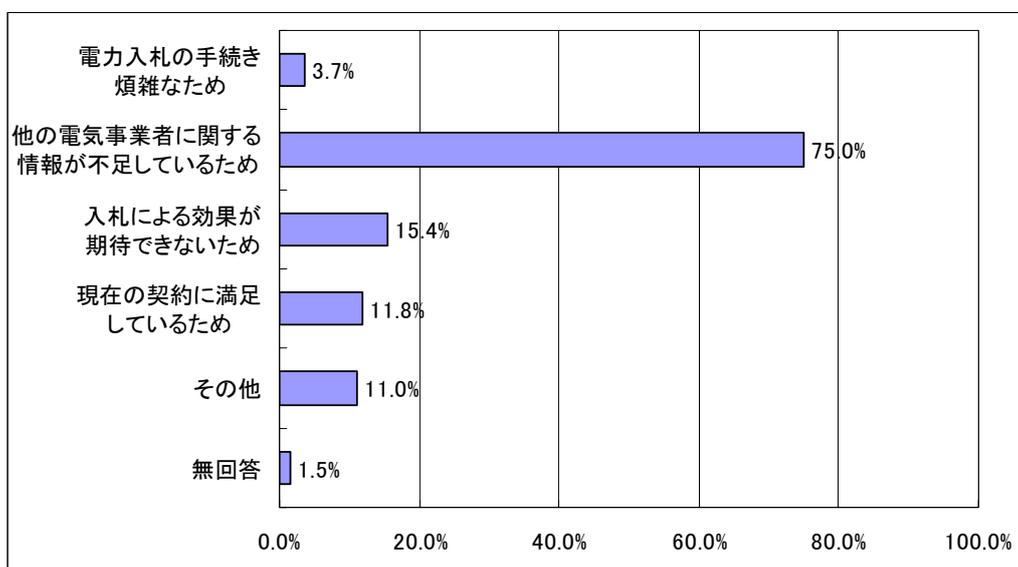


（資料）経済産業省 需要家アンケート（2005年2月）

電力入札を実施していない理由について質問したところ、電気事業者に関する情報が不足しているから（75.0%）、（十分な競争が働かず）効果が期待できないから（15.4%）と高い割合を占め、逆に、現在の契約に満足しているからという回答は少数に留まった。

また、その他の回答として、地元企業を優先したいから、地元で事業所があり迅速な対応が期待できるから、というものがあつた。

図表 90 電力入札を実施していない理由（複数回答可）



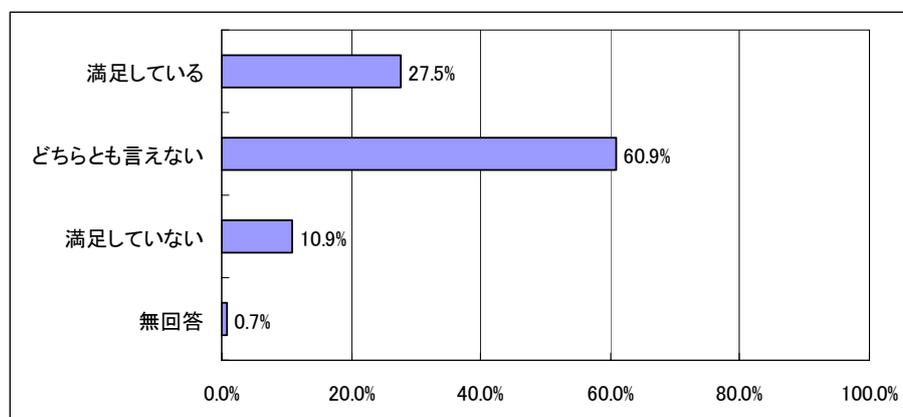
注) 数値は、当該質問の回答者数に対する割合

④現在の契約の満足度

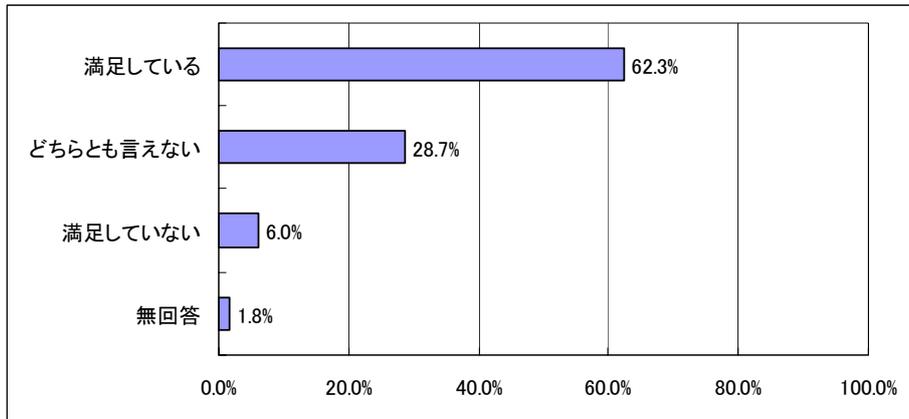
「現在の契約に満足しているか」という質問をしたところ、満足しているという回答は 27.5%に留まった。「どちらとも言えない」とする多くの需要家は、「他の電気事業者がないこと」、「他の電気事業者に関する情報が不足していること」などが要因と考えられる。

全国では 62.3%の需要家が「満足している」と回答し、「満足していない」と回答した需要家は 6.0%と低いことから考えると、総じて東北地域の満足度は低いと言える。

図表 91 現在の契約の満足度（東北）



図表 92 現在の契約の満足度（全国）

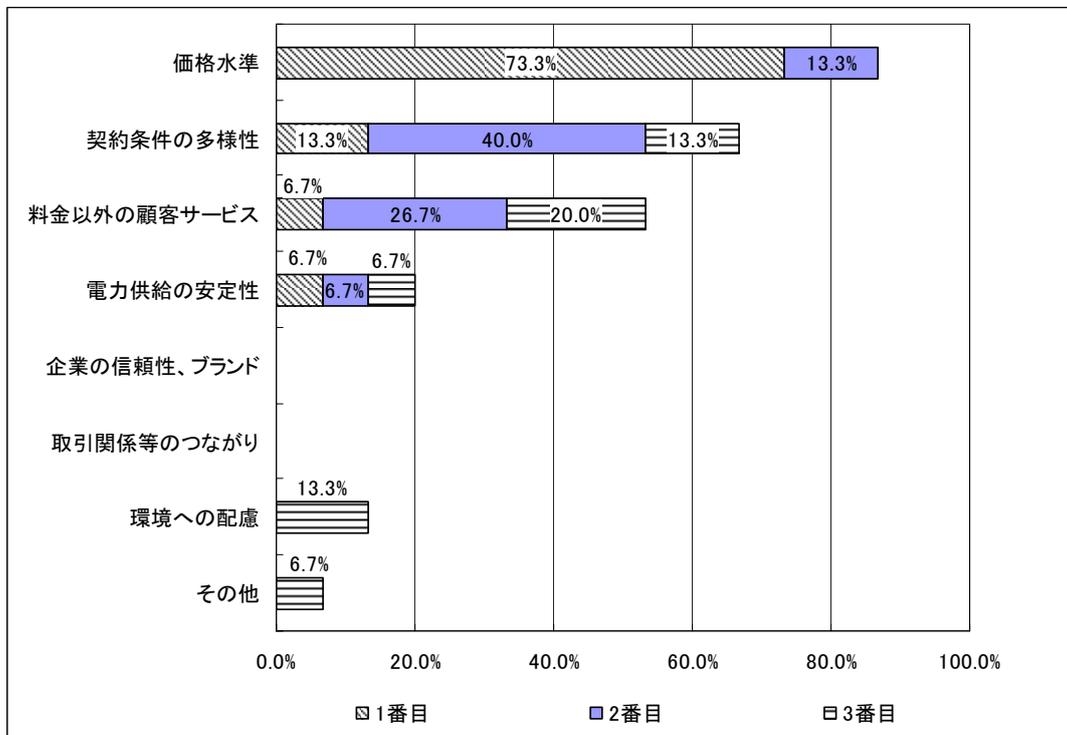


（資料）経済産業省 需要家アンケート（2005年2月）

注）電力会社から購入している需要家

現在の契約に満足していないと回答した需要家に対して、その理由を上位から順に3つまで挙げてもらったところ、価格が高いこと、契約条件の多様性がないこと、価格以外のサービスが十分でないことなどが上位を占めた。

図表 93 現在の契約に満足していない理由（複数回答可）（東北）



注）数値は、当該質問の回答者数に対する割合